

令和 8 年度学校経営計画

学校名 三原市立西小学校
 学校長名 徳重 宏美

I 学校の状況

学級数	19 学級	児童数	387	教職員数	45
メールアドレス	nishi-es-info@mihara.ed.jp				
ホームページアドレス	https://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/es-nishi/				

II 教育目標

夢や目標の実現に向けて、自ら学び ともに伸びようと行動する児童の育成

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

【ミッション】（自校の使命） 志を抱き、その実現に向けて考え、行動できる未来の創り手の育成
【ビジョン】（自校の将来像） 「自ら学び ともに伸びようと行動する」という教育風土がある学校

IV 中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策
確かな学力	【授業改善による学力定着】 主体的な学びを実現する取組を通し、学力の定着と本校の目指す資質・能力の育成を追求する。	必要感のある問いの設定と問い返し発問を中心とした授業づくりを通して、主体的な考え、ともに伸びようとする児童を育成する。 R80 を核とした授業デザインを通して、各学年で身に付けるべき学力を確実に定着させる	<ul style="list-style-type: none"> ・「今日の学習でどんなことが分かりましたか」「今日の学習は他にどんな場面で使えそうですか」などの発問を通して学習内容の確認、学習内容と関連付け、一般化したり、学習内容と自らをつなげたりする授業づくり【研究部】 ・学習の見通しをもち学習の進め方を調整する場面、考えを記録・共有し、比べる場面、振り返りを蓄積し次の場面につなげる場面を位置付ける授業づくり【研究部】 ・「R80」を活用した「学びのゴール」から逆算した 45 分間で完結する授業づくり【研究部】 ・授業導入時に、「ズレ」を用い、児童が本時の「問い」を明確につかみ、「なぜだろう」「解決したい」と思う質の高い「問い」を持たせる授業づくり【研究部】 ・「それはどういうことかな」「どうしてどうなるのかな」などの発問や児童の表現に対して反論したり、別の案をだしたりして志向を揺さぶり、新たな思考を引き出すための発問を行い、児童の思考や対話を活性化する授業づくり【研究部】 ・学習規律の徹底し、親和性のある学習集団づくり【研究部】【生徒指導部】 ・実生活や実社会の課題を解決する総合的な学習の時間におけるプロジェクト型学習の充実【研究部】 ・反復により学力の定着を図る「ドリルタイム」、放課後にできていないことをやりきって下校する「やりきるタイム」を全教員で組織的に取り組むことや家庭学習の習慣化を保護者に働きかけすることで、基礎学力の定着を図る。【研究部】
豊かな心と親和性	安心して学べる学習環境の基盤となる、規範意識の醸成を図るとともに、自他を尊重する心情・態度を育成	【規範意識の育成】 安心して学べる学習環境の基盤となる、規範意識の醸成を図るとともに、自他を尊重する心情・態度を育成する 【共感的な人間関係づくり】	<ul style="list-style-type: none"> ・「西小きまり」に基づく積極的な生徒指導を日常的に実施【生徒指導部】 ・生活や学習の場で自己決定する場の設定【生徒指導部】【研究部】 ・全ての児童に、学校内（学校外も含めて）に「学ぶの場」がある取組【生徒指導部】

の あ る 集 団	成する	児童に、他者とかかわり合う場面を与え、その中で、自己肯定感を高めさせるとともに、相手を大切にすることを身に付けさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童が、困った時に学校の中に相談できる人や場がある取組【生徒指導部】 ・「聞く」ことや「学び合い」を大切に授業づくり【研究部】【生徒指導部】 ・学級でいっしょに生活している友達のことにもっと目を向け、お互いに気持ちよく生活できているかに関心を持ち、問題があれば、その問題を自分たちで解決しようと真剣に話し合うことができる集団づくりのための学級活動の充実【生徒指導部】
健 や か な 体	生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する	<p>【生涯にわたって健康づくりをしようとする健康教育の充実】</p> <p>【生涯にわたって運動しようとする心情の育成につながる授業改善】</p> <p>児童に確かな目標を持たせ、生涯にわたって健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現しようとする心と体を育成させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムを整える取組の実施【保健安全部】 ・楽しく、運動量がある体育科の授業改善【保健安全部】 ・自分の目標に向かって挑戦することができる体育科等の授業改善【保健安全部】 ・児童同士が「見る」ことを大切に体育科の授業改善【保健安全部】 ・自己決定の場がある体育科の授業改善【研究部】【保健安全部】 ・安全に運動できる環境づくり【保健安全部】
信 頼 さ れ る 学 校	【働き方改革】	教職員の勤務状況を改善し、健康な状態で、自らも学ぶ時間を確保しながら、専門性を最大限に発揮して、生き生きと児童の教育に邁進できるようにするとともに教職員の健康を維持する。	<p>教育課題に適切に対応する学校体制を再構築するとともに、行事等の精選をし、児童に向き合う時間を確保することで、教職員の働きやすさと働きがいと両立する。【学校経営会議、準学校衛生、不祥事防止委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事等の内容を精選し、行事に係る練習時間数を減少する。 ・総合的な学習の時間、生活科の内容を「じっくり、ゆっくり」と探究できる内容に精選する。 ・各部が担当する行事を精選するとともに、会議や研修等の時間設定を計画的に行う。 ・関係機関・団体と連携する取組について、学校が担う業務を軽減する。 ・生徒指導事案の未然防止の取組及び組織的に対応する体制をつくる。 ・個人情報に係る不祥事を根絶するための取組を不祥事防止委員会で検討し、環境を改善する。
	【不祥事根絶】	結果責任を伴う説明責任と積極的な情報発信を通して信頼される学校づくりを行う。 職員による不祥事を生じさせない。	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の課題を受け、不祥事防止委員会を中心に計画的な研修を実施し、不祥事根絶に向けた教職員の意識を維持、向上させる。 ・大規模な片づけを行い、不祥事を起こさせない環境づくりを行う。 ・個人情報に係る不祥事を根絶するための取組を不祥事防止委員会で検討し、環境を改善する。